

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和08年01月26日

計画の名称	緑豊かな住環境と都市景観の向上(第2期)											
計画の期間	令和04年度～令和08年度(5年間)											
交付対象	北本市											
計画の目標	大目標：潤いと安らぎを与える空間を形成し、快適で魅力のある住環境を形成する。 目標1：公園や緑地等、緑の豊かさを活かしたまちづくりを推進する。 目標2：美しい街並みを形成するため、公園及び中山道の景観に配慮し、魅力的な公共空間を形成する。 目標3：北本市公園施設長寿命化計画に則り、老朽化した施設の計画的な改修を推進することにより、人々が安全で安心して生活できる街づくりを推進する。 目標4：北本中央緑地の整備を進め、人口当たりの都市公園面積を増加させる。 目標5：北本中央緑地の整備推進により、安全で安らげる空間・住環境を形成する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	407	A	407	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	定量的指標の定義及び算定式 （人口100人当たり都市公園面積） = (総公園面積(県営除く)) / (総人口 / 100)	計画の成果目標(定量的指標)		定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R4当初)	中間目標値 (R6末)	最終目標値 (R8末)		
				1	2	
1	人口100人当たり都市公園面積を643m ² (R4当初)から655m ² (R8末)に向上。 市内の都市公園面積(県営除く)を人口100人当たりに換算する。 (人口100人当たり都市公園面積) = (総公園面積(県営除く)) / (総人口 / 100)	643m ²	650m ²	655m ²		
2	対象都市公園施設の改築・更新達成率を0%(R4当初)から100%(R8末)に向上。 計画対象施設10施設の改築・更新達成率。 (対象施設改築・更新達成率) = (改築・更新済み施設数) / (対象公園施設数) × 100	0%	60%	100%		
3	安全で安らげる空間・住環境の形成ができていると思う市民の割合を59%(R4当初)から63%(R8末)に向上。 市民意識調査アンケートにおいて「安全で安らげる空間・住環境」となるような土地利用や開発ができているかの質問に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合。(無回答除く)	59%	61%	63%		

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																							
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況				
		一體的に実施することにより期待される効果																					
		備考																					
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	北本市	直接	北本市	-	-	グリーンインフラ都市構築支援事業	北本中央緑地周辺地域における公園緑地の整備	北本市						199		-				
		グリーンインフラ都市構築事業(199百万円)																					
		A12-002	公園	一般	北本市	直接	北本市	-	北本市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化対策(北本総合公園等3公園における遊戯施設等の改修)	北本市						168		策定済				
	長寿命化対策(168百万円)																						
	A16-003	小計																	367				
		中山道間の宿地区街なみ環境整備事業																	40	-			
		街なみ環境整備事業(40百万円)																	40				
		小計																	407				
		合計																					

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06		
配分額 (a)	10	47	22		
計画別流用増 減額 (b)	0	2	0		
交付額 (c=a+b)	10	49	22		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	44		
支払済額 (e)	10	5	66		
翌年度繰越額 (f)	0	44	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					

